

中世のロマンを訪ねて

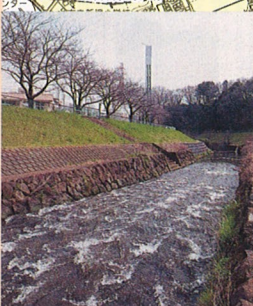


法台寺



大平山法台寺は、鎌倉時代に創建された時宗の古刹。室町時代まで、時宗の道場として、その名を知られました。境内には板石塔婆など中世の資料が見られます。

黒目川



小平市内に水源をもつ全長約15km、流域面積約31km²の一級河川。片山はこの沖積低地から生まれ、旧石器時代から人々の生活の場となりました。

嵯峨山遺跡(埼玉県選定重要遺跡)



堀ノ内・二・三丁目の黒目川左岸の野火止台地縁辺部に位置する縄文時代中期の大規模集落跡。発掘調査により、旧石器時代の石器類、縄文時代早期の住居跡や屋外炉・前期から後期の住居跡、落とし穴などが発見され、同時代の土器・石器類も多数出土しています。また、平安時代初期の須恵器、中世の陶磁器等が採取されています。

市場坂遺跡(埼玉県選定重要遺跡)

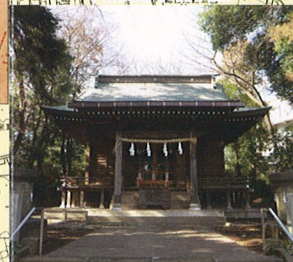


本遺跡は、旧石器時代の代表的な遺跡です。昭和58年の調査では、約3万年前から1万5千年前までの数多くの石器類と、当時の人々が調理に使用していた焼けた石などが、現在の市営墓園内のいたるところから発見されました。

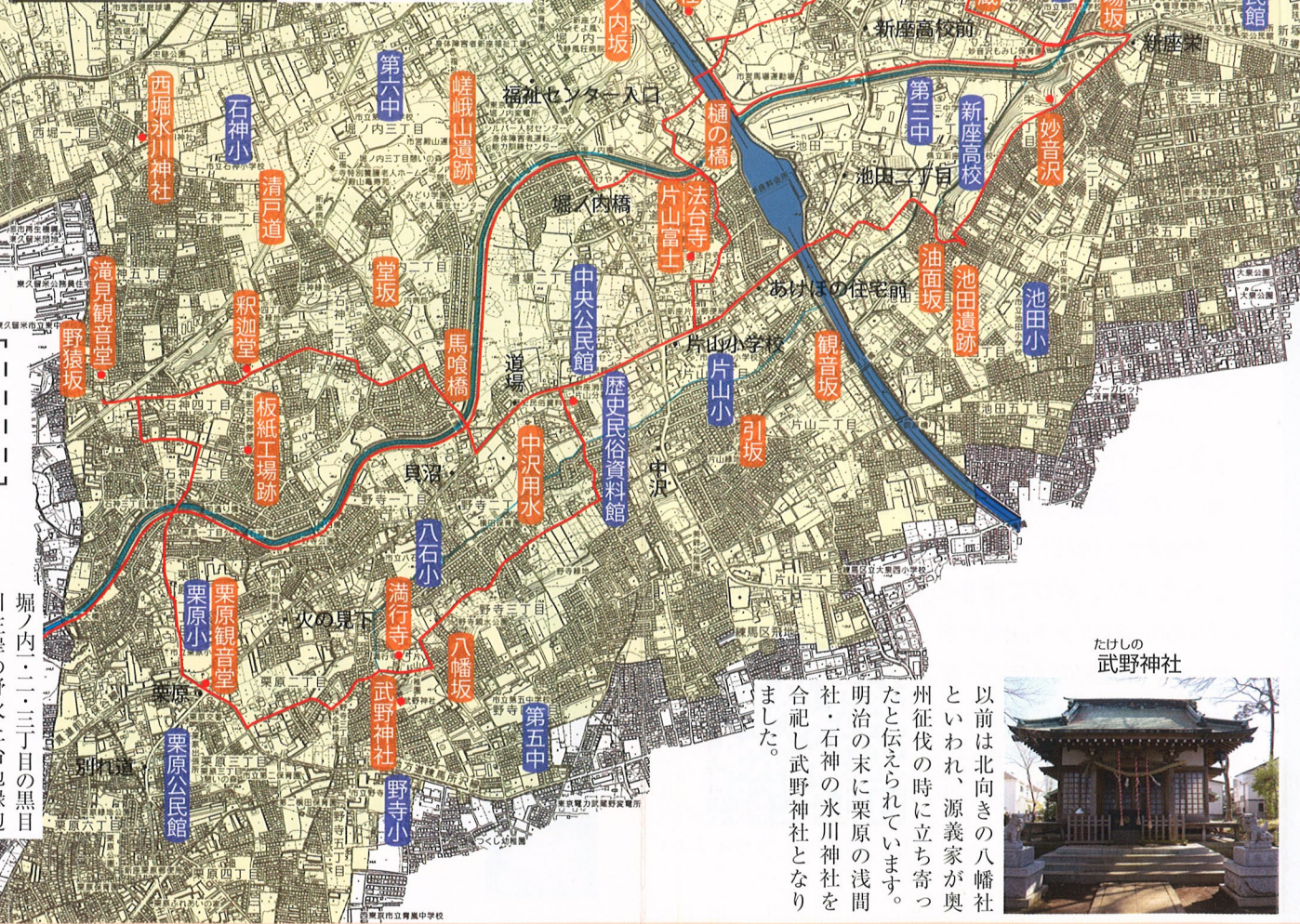
蓮光寺



片山氷川神社



馬場にある片山氷川神社は片山郷の総鎮守。社殿の左脇に安置してある大杉の切株は、樹齢700年の「御神木」の名残りです。歴史と信仰の重みを感じさせてくれます。



たけしの武野神社

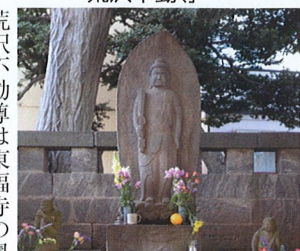


以前は北向きの八幡社といわれ、源義家が奥州征伐の時に立ち寄ったと伝えられています。明治の末に栗原の浅間社・石神の水川神社を合祀し武野神社となりました。

東福寺



荒沢不動尊



妙音沢の伝説



満行寺



真言宗の古刹である十王山東福寺の本尊は薬師如来。本道には山号とかかわりのある閻魔王などの十王像が安置されています。

荒沢不動尊は東福寺の奥の院の跡。本尊の不動明王は、雨ざらしのままで、これは修行中の不動であるからといわれています。

その昔、天から降りてきた弁財天が、村人に琵琶の秘曲を授けた妙音沢の伝説。弁財天の奏でる妙なる調べは片山の里に響きわたったそうです。

「野寺の鐘」で有名な満行寺は真言宗の古刹。文明18年(四八八)京都聖護院門跡の准后道興は、関東下向の折、この地に立寄り歌を詠みました。

《黒目の里をあるく》

